

公 表 日

令和 2年 9月 29日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和2年度熊本管内排水施設監理検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 2年 9月 29日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	19,998,000円(税込み)
予定価格	19,998,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	熊本河川国道事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 2年 9月 30日
履行期間(至)	令和 3年 2月 12日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和2年度熊本管内排水施設監理検討業務

2. 履行場所 熊本河川国道事務所管内

3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名2-4-12 CTI福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、洪水時の河川水位の上昇により堤防の決壊や氾濫の恐れがある場合における熊本河川国道事務所管内の排水機場（管理施設・許可工作物）について、その影響を把握し排水機場の運転調整ルールを策定を行い、河川管理体制に万全を期すものである。

2) 業務の内容

- ・計画準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・資料収集整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・運転調整対象箇所の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・運転調整水位の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・運転調整対象候補排水ポンプ場（群）の選定・・・・・・1式
- ・運転調整対象箇所への影響検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・運転調整対象排水ポンプ場の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・運転調整ルールの周知及び情報提供方法検討・・・・・・1式
- ・運転調整ルールの策定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・報告書作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を17者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、管理技術者の資格及び実績は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」、「実施手順」において、目的・条件・内容を十分理解し、実施フローの工夫がされていること、及び特定テーマ「緑川水系における排水機場の運転調整水位を決定するための留意点」に対する技術提案において、与条件との整合性及び有効性が高く、提案内容の説得力と提案内容を裏付ける類似実績があり、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 河川管理課長